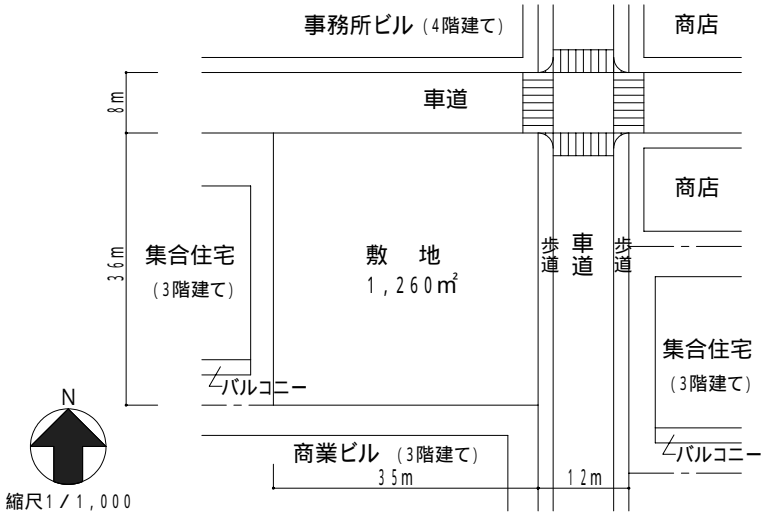


設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地において、専用テラスのある家族向けの分譲型集合住宅を計画するものである。
 なお、住戸については、居住性、安全性等に配慮し、物件価値の高いものを目指すものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は200%である。
- 電気、ガス、及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。



2. 建築物

- 階数等
地上3階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,400㎡以上、1,700㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、屋外階段、共用廊下は、床面積に算入しない。
- 構造、設備
構造（構造種別は自由。）、設備（空調設備、給排水衛生設備、電気設備）については、適切に計画。なお、エレベーター（機械室が不要なものとする。）は、乗用1基（トランク付き9人乗）を設ける。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

設置階	室名	特記事項	床面積
適宜	住戸A (戸数8戸)	・室構成は2LDK、及び納戸付きとする。 ・各個室（収納を含む。）は、10㎡以上とする。 ・LDは20㎡以上とする。	1戸当たりの 屋内面積 約80㎡
	住戸B (戸数5戸)	・室構成は3LDK、及び納戸付きとする。 ・各個室（収納を含む。）は、10㎡以上とする。 ・LDは20㎡以上とする。	1戸当たりの 屋内面積 約100㎡
1階	集会室	・会議形式で14席を確保する。	特記事項 により算定
	管理人室	・管理人は通いとす。	
	エントランス ホール	・風除室を設ける。 ・談話コーナーを設け、ソファセットを設置する。 ・ポスト及び宅配ロッカーを設ける。	
適宜	設備スペース	・各自が採用した設備計画に応じて、電気・機械室、屋外機置場等を計画する。	適宜

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。
 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

3. その他の施設等

- 専用テラスは、次のとおり計画する。
各住戸の屋外に設け、まとまったスペースで、それぞれ20㎡以上（屋根、ひさし等のある部分は算入しない。）とする。
各住戸のLD（リビング・ダイニング）から直接行き来できる。
- 地上に設ける駐車場は、居住者用として13台分、サービス用として1台分、車いす使用者用として1台分を設ける。なお、居住者用の駐車場については、2段昇降式駐車装置（1基当たり幅2.5m×奥行5.5m×高さ3.5m程度）としてもよい。
- 駐輪場は、居住者用として25台分（1台当たり0.5m×2.0m程度）を設ける。
- ごみ置場（面積適宜）を設ける。
- (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
住戸については、採光、通風、プライバシー等の居住性に配慮する。
居住者の共用部門とプライベート部門とを適切にゾーニングし、明解な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
構造種別、架構形式、スパン割を適切に計画する。
耐力壁等を設け、耐震に配慮する。
部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
空調設備、給排水衛生設備、電気設備、エレベーター等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
地震等の災害時においても、一定の機能を維持できるように配慮する。

要求図書

答案用紙 及び答案用紙 の定められた枠内（寸法線は枠外でもよい。）に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面（答案用紙 に記入）

下表により、所定の図面を作成し（フリーハンドでもよい。）、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼 配置図 1/200	1階平面図兼配置図及び2階、3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法（柱割り及び床面積の計算に必要な程度） ロ. 室名等
(2) 2階平面図 1/200	ハ. 耐力壁等（凡例にしたがって図示し、凡例にないものを使用する場合は空欄に追加記入する。） ニ. 設備シャフト（パイプシャフト（PS）等）の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース（ただし、屋上に設けた場合は断面図に補足的に記述する。）
(3) 3階平面図 1/200	1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 集会室、管理人室の床面積 ハ. 駐車場（居住者用、サービス用、及び車いす使用者用）の位置、及び台数 ニ. 駐輪場（台数を明示する。） ホ. 集会室には、机、いす等 ヘ. 通路、植栽等 ト. 断面図の切断位置 2・3階平面図には、下階の屋根、ひさし等を図示する。 住戸については、次のものを図示又は記入する。 イ. 各住戸の面積 ロ. 住戸A・Bの代表的室内プラン、及び各個室、LDの面積 ハ. 住戸Aの表示（A1、A2～） ニ. 住戸Bの表示（B1、B2～） ホ. 各住戸の専用テラスの位置、及び面積
(4) 断面図 1/200	切断位置は、住戸を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、及び主要な室名を記入する。 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(5) 2階梁伏図 1/200	2階からの見下ろし図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。

2. 面積表等（答案用紙 に記入）

地上1～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等（答案用紙 に記入）

- 建築計画について、次の～の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
建築物の外部動線について、工夫したこと
建築物の内部セキュリティについて、工夫したこと
住戸の計画（居住性、物件の高価値化等）について、工夫したこと
住戸A及びBの計画について、その位置とした理由及び動線計画（避難計画を含む。）において工夫したこと
- 構造計画について、次の及びの要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割とこれらを採用した理由
耐震計画について、工夫したこと
- 設備計画について、次の～の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
建築物に採用した空調方式と採用した理由
給排水衛生設備及び電気設備における水道・光熱費または共益費の削減のための「設備方式・手法」を各2つあげ、「その具体的な削減効果」について記述すること
地震等の災害に対する設備計画について、「停電」及び「断水」の際の対応策を記述すること（停電や断水は3日程度を想定する。）

試験場	受験番号	氏名
	□□□□□□□□	